

編集後記

今年もご講演者をはじめ多くの方々の御協力を得て報告を出すことができました。
厚く御礼申し上げます。

本誌は12月1日から4日迄、都立大学の山田裕史氏のお世話により開催された
1988年表現論シンポジウム（山梨県川口湖、富士桜荘）の講演記録です。

この研究集会は科学研究費（安藤 毅代表（北海道大） 新屋 均分担責任者
（立命館大））によるものです。

発行に関しては職業訓練大学校長浅枝敏夫先生のご配慮をいただき、同大数学教室
が責任を負いました。

佐野記